

スポーツ川越

発行 川越市体育協会



スポーツ指導者として

川越市体育協会副会長 鈴木哲郎

人生八十年時代の高齢化社会が進む中で、生涯スポーツに対する関心も一段と深まり、また多様化していくと予想されます。さらに、総合型地域スポーツクラブのような、地域との密接な連帯が求められる状況も生まれてくる中で、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境と条件の整備、特に、このようなニーズに応え得る行き届いた指導者の必要性が期待されます。

現在、各種スポーツの普及・振興、底辺の拡大等を目的に、さまざまな教室が実施されておりますが、その指導者たるものは漫然と安易にボランティア的活動だけではすまされない面があります。それぞれの知識・経験・技術を十分に生かし、しかもスポーツ指導者としての信頼を高めるために、一層の努力と研鑽を重ね、自らの資質の向上に努めることが強く求められるものと思っております。

昭和四十年代当時、上司が幹部を集めて良く話された先人の言葉に、「して見せて、言うて聞かせてさせて見て、ほめてやらねば、人はうごかぬ」というのがありました。すなわち、まず自ら模範を示して、次にやり方を説明し、充分に納得させてからやらせて見て、ほめることによりやる気を起こさせなければ人は動いてくれない。私はこの言葉は弓道を指導する上の原点だと考えています。

しかし、この言葉を実行するには上達の程度に応じて、よりよい模範、よりよい説明と指導ができるような裏付けがなくてはなりません。さらには、指導者将来の姿としてその人の資質をも大きく問われることになると考えます。

何にせよ、私たちはそれぞれの分野において個々の人間性を尊重しつつ、円滑な人間関係の中で、充実感を満喫させることができる、よりよいスポーツ指導者としての役割と責任を率直にとらえ、日々新たに研鑽努力し社会に奉仕すべきではないだろうか。

彩の国まごころ国体の開催に寄せて

川越市国体推進室

国民体育大会(国体)は、いまから五十六年前、敗戦後の国民の意気をスポーツによって高め、明るく健康な生活を築くことを目的として始まり、昭和二十一年の秋

一回大会が開催されました。そしてこの大会は毎年続けられ、二年後の平成十六年には、第五十九回大会(彩の国まごころ国体)が埼玉県で三十七年ぶり(前回は昭和四十二年の第二十二回大会)に開催されます。

国体には、冬、夏、秋の三つの大会があり、埼玉県では、このうちの夏季大会と秋季大会が開催され、川越市では夏季大会でゴルフ(成年男子・少年男子)とサッカー(成年男子)が、秋季大会でバレーボール(少年女子)と高等学校野球(軟式)がそれぞれ開催されます。また、秋季大会には、



2004年 第59回国民体育大会

彩の国まごころ国体

とどけ この夢 この歓声

大会旗・炬火(オリンピックの聖火に当たるもの)リレーという行事があります。このリレーは、県内九十市町村を隈なく経由したのち、開会式の当日、メイン会場である熊谷スポーツ公園陸上競技場に到着します。

国体では、炬火の火種を採取するための採火式という式典があり埼玉国体では、川越を始めとする十市町村で実施されます。川越市では、全国有数の観光資源である蔵造りの町並みを背景に、本市の施策の一つである「人と環境にやさしい、都市基盤の整ったうるおいのあるまち」をテーマに採火式

を行う予定です。

また、川越市における現在の国体準備体制は、市長を会長とする全市的組織、彩の国まごころ国体川越市実行委員会と、助役を会長とする市内組織、彩の国まごころ国体川越市市内連絡会議の二つがあります。

今後は、多岐にわたる市民運動の円滑な推進を図るための組織作りが急務であり、体育協会を始め、自治会連合会、体育指導委員連絡協議会、婦人スポーツ団体連絡協議会等、各種団体(機関)の皆さんの多大なるご理解とご協力を賜りたいと考えています。

国体推進室では、全国から集う選手や応援の方々が、いつまでも心に残る大会となるよう努めるとともに、市民の皆さんが生涯にわたって親しむことのできるスポーツの振興と個性豊かな文化の創造を目指し、国体の準備を推進していきます。ご協力をお願いいたします。

川越市教育委員会

生涯学習部国体推進室

川越運動公園総合体育館内

☎ 二二四一六五一

サッカー協会

サッカーの世界一を決定する四年に一度の国際大会、世界最大のスポーツの祭典サッカーWカップがあと数ヶ月で開催となりました。開催期間中は世界中サッカーの話



のみに愛されています。

また男性のみならず女性のチームも活動をしています。市内では小学生二チーム、高校生二チーム、年齢に制限のない一チームと五チームがあります。日本サッカー協会も女子サッカーに力を入れ始めて数年経過しています。市の活動は市民体育祭サッカー女子の部において、年齢を問わず交流を深め楽しみながら女子サッカーも根付かせて、発展と育成に地道な努力を続けています。

そんな世紀の祭典を前にサッカー協会でも多くのチームが活動しています。社会人チームはもちろん将来W杯に参加を夢見る若くは小学校一年生から六年生までの小学生、生涯スポーツとして昔覚えたプレーをいつまでも続け楽しむ五十代、六十代の高齢者まで多く

活動の指針としては、より上のリーグを目指して勝敗を競い合う一般部門、将来のJリーグ、日本代表を目指し育成するジュニア部門、さらに、健康を目的に生涯スポーツとして楽しむ高齢者まで幅広い年齢層がサッカー協会の会員として活動しています。

バレーボール連盟

埼玉国体(平成16年)へ向けて
少年女子バレーボール

監督 伊藤 博義

昭和42年一巡目の埼玉国体が行われ、川越市ではバレーボールと軟式野球が開催された。当時の国民体育大会は、少年の部・少女の部・成年男女の部・教員の部に分かれそれぞれ覇を競った。

6人制バレーボール教員の部は現在の川越市民体育館で行われた。

この市民体育館は当時、全国でも有数の体育施設を備えたものであり、全日本バレーボール選手権大会も行われ選手、役員そして観客の方々からも大好評を博した。私も教員になりたてでしたが、幸い



にも教員の部の選手として出場し埼玉教員の優勝に貢献する事ができ、非常に良い思い出として残っている。さて30有余年を経て、二巡目国体が迫って来た。数年前、国体の種目誘致については、少年女子バレーボールを開催希望する市町村はとても多く、難関を突破して川越市で開催するに至った経緯は市当局の多大な御尽力の賜である。これらの事を念頭に置き是非でも国体を成功させなければならぬと思う。

長野オリンピックの感激・興奮・喜びは日本の選手が大活躍したからであり、埼玉国体も地元川越の選手が頑張る事が市民及び県民に勇気と喜びを与える、国民体育大会が成功したかどうかはほとんどがその成績の出来・不出来により評価されてしまう。地元選手の活躍・優秀な成績・国体成功・という図式を作り出さなければならぬ。

国体迄の3年間は目前に迫りつつある、もう僅か3年しか無い危機感を募らせ多くの関係の方々に力を出して頂き今後最善の方法を考え勝利への道を踏み出す事が肝要である。

一巡目の埼玉国体は成績も最高であったが、終了後、優秀な人材を残し、その人達の指導力により、

野球連盟

彩の国まごころ国体
成功に向けて

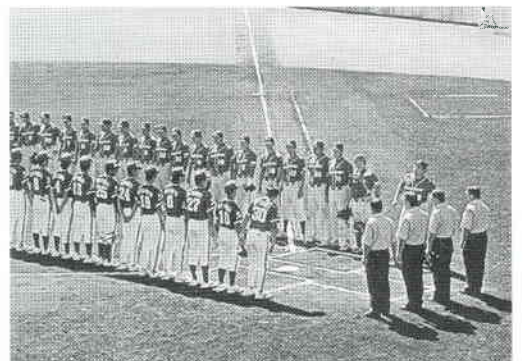
平成16年度第59回国民体育大会が埼玉県で行われる事に大変喜ばしいと思います。

川越市では初雁球場において高等学校野球(軟式)の開催が行われます。

全国各地から激戦を勝ち抜かれたチーム及び選手の皆様を川越市にお迎えして大会が出来ます事は大変喜ばしい事と思います。

ここに参加される選手諸君たちは郷土の代表としての誇りをもってこの歴史ある国民体育大会を多くの選手が残した数々の輝かしい足跡をよごす事なく、常にスポーツマンとしての自覚をもちフェアプレーの精神と立派なマナーをもって国民体育大会の野球の部を成功させたいと思います。

それには大会役員・施設管理と整備したグラウンドで思い切ったプレーを期待し、川越市のグラウンド



で選手が思い出にのこるようになりたいと思います。

また、この機会に、時間の許す限り小江戸川越の自然や風土、温かい人情などにも触れていただき、思いでの多い大会になるようにしたいと思います。

最後になりますが、この大会が大成功になるよう役員・関係者一同、ガンバッテいきたいと思えます。



2004・彩の国まごころ国体 競技別開催日程(予定)一覧

【夏季大会】(9月)

●ゴルフ競技(成年・少年男子)
会場 霞ヶ関カンツリー倶楽部
日程 11日(土) 公式練習
開始式

12日(日) 競技
13日(月) 競技

総表彰式

●サッカー競技(成年男子)

会場 川越運動公園陸上競技場
日程 10日(金) 開始式
11日(土) 競技
12日(日) 競技・表彰式
13日(月) 競技
14日(火) 競技・表彰式

【秋季大会】(10月)

●バレーボール競技

会場 川越運動公園総合体育館
日程 24日(日) 開始式・競技
25日(月) 競技・表彰式
26日(火) 競技・表彰式
27日(水) 競技・表彰式

●高等学校野球競技

会場 川越市初雁公園野球場
日程 24日(日) 開始式・競技
25日(月) 競技
26日(火) 競技・表彰式
27日(水) 競技・表彰式

* この日程は、現在の予定であり、正式決定は、平成15年秋頃の予定です。

クレー射撃協会



川越市クレー射撃協会は、昭和二十八年に発足し、昭和三十一年に川越市体育協会へ加盟し現在に至っています。クレー射撃は、メタルな面と自分のスケジュールに合わせて個人で、スポーツが出来るという事で近年では、女性の姿も見られるようになりました。シドニーオリンピック大会にて(社)日本クレー射撃協会より二名の女性選手が出場いたしました。川越市クレー射撃協会としましては、若手選手の育成に力を入れて、強化練習を行っております。本年度から、二〇〇四年アテネオリンピック出場枠の国際大会が始まります。

四月上海ワールドカップ大会、七月第四十八回世界選手権大会(フィンランド)九月二十九日より、十月十四日韓国釜山にて、第十四回アジア競技大会が行われます。昨年十二月より、予選会が始まり、当協会も参加しています。第一次予選では二位で通過しています。第二次、第三次と予選会が続きますが是非、トップで通過して欲しいものです。国内の大会においては、昨年度の宮城国体にて、当協会員二名(小原誠、鈴木勝則)が埼玉県代表選手として活躍しました。本年度の高知、二〇〇三年静岡、そして、二〇〇四年第五十九回国民体育大会(彩の国まごころ国体)とだけ、この夢、この歓声の「スローガンのもとに、クレー射撃協会員も、関心を高め、練習にも力が入り、埼玉国体を心待ちにしています。

なぎなた連盟

なぎなたは昔は武器の一種として人をなぎはらうために用いられ、特に武士の間で行われるうちに長大化したようです。近世では女子の護身具とされてきました。映画やテレビの映像にも登場するのでご存知の方も多いと思います。川越市なぎなた連盟は、昨年、

川越市体育協会加盟十周年を迎え、記念誌の発行や記念大会を開催しました。

現在クラブは四つあり、はつかりクラブ(木曜日)、花みずき(金曜日)、つくしクラブ(土曜日)、土曜会(土曜日)の各クラブ毎に練習に励んでいます。クラブ相互の親睦も、新年会、技術向上研修会、なぎなた大会などのイベントを通して盛んに行われています。土曜会では、幼・小・中・高の子どもたちに加え、男性も参加して楽しく練習しています。



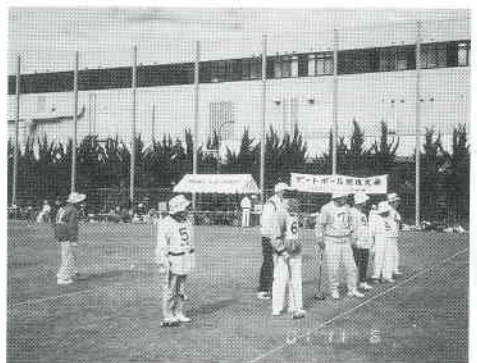
平成十六年に埼玉国体が行われますが、なぎなたも国体種目の一つであり、ジュニア強化への参加で士気を高めています。今後は各クラブ共に更にクラブ員を増やし、ジュニアの若さと先輩の方々の知識を融合させ礼と義を重んじ、知・徳・体のバランスのとれた人間形成を目指していきたいです。

ゲートボール連合会

誰にでも親しめるなぎなたは生涯スポーツに適しています。「何かスポーツを始めたい」と考えていらっしゃる方は、どうぞお気軽に参加してみてください。

二十世紀中頃の戦争のため、運動や遊ぶことに縁遠かった人々が現役を退いた二十年ほど前、日本全土にゲートボールが、市町村の援助を受けて広まりました。広場や公園には、たくさんゲートボール場ができ、高齢者の健康と生きがいを与えるスポーツとして二十一世紀に至りました。

このゲートボールの面白さが若年層にまで浸透して、今年の全国選手権大会の優勝チームの平均年齢は二十一歳でした。これからは世代間の交流を深め、若い年代にも広げていくことが必要です。ゲートボールは年をとってからとの声がありますが、体力を必要



としなので、年をとってもできるスポーツです。しかし、一歳でも若い時から始めた方が技術的に上達が早く、また、柔軟な頭脳プレーが要求される奥の深いスポーツでもあります。

これからは、若い力を交えて、川越から全国大会や世界大会に出場できるチームが生まれることが川越連合会の夢です。ゲートボール日本連合会ではジュニア大会(小中高生)・社会人大会・ミドル大会(六十歳未満)・シニア大会(六十歳以上)などたくさんの大会があります。近々七十歳以上の方が参加する大会を望む声も出ています。ゲートボールを通じて、健康で触れ合いのある明るい社会を築くためにも、普及に努めていきたいと思えます。

体だより
の展望

ラグビーフットボール協会

川越市ラグビーフットボール協会は、ラグビーのできるグラウンドの建設を市に働きかけていくことを目的に、市内の9チームにより平成7年に結成されました。以来協会を挙げてラグビーの普及・指導に力を注いできましたが、どうしてもいきあたるのが、グラウンドの問題と中学生の問題です。

市内の高校では6校でラグビー部が活動していますが、どの高校にもラグビーの試合ができるグラウンドはありません。また、幼稚園から中学生までが在籍するラグビースクールと一般のクラブチームは、主に東京国際大学の河川敷グラウンドを借りて活動していますが、



これも大学側の利用が優先するため、思うような活動ができません。このため、市民体育祭等の大会を開くときには、会場の確保に大変な苦勞を強いられています。

また、現在市内にはラグビー部のある中学がないため、せっかくラグビースクールで楯円球に親しんでいても、中学に入ると別のスポーツに流れてしまいます。そこで、学校の部活動以外でも中学生がラグビーをやれる場をつくってやる必要があると考え、現在、全川越中学生クラブの設立に向け、準備を進めているところです。

私達は、川越市におけるラグビーの普及・発展のためには、グラウンドの問題をはじめ、低年齢層に良いラグビー環境を整えてやることが肝要と考え、環境整備に向けて努力してまいる所存であります。

婦人スポーツ連協

めまぐるしく変化する時代の流れの中で、新しく二十一世紀がスタートし、婦人スポーツ団体連絡協議会も今年で二十一年目を迎えます。

現在、9団体の加盟のもと、年間様々な事業を行っています。主な事業として「婦人スポーツの集い」は、毎回各分野でご活躍

特集・団 21世紀



されている講師をお招きしての講演と、出席者が手軽に参加できる軽スポーツを、又、「スポーツフェスティバル」では、親子一緒に楽しめるスポーツ大会を行っています。各事業共に、年々定着し、一般の人々も含め、多数の参加をいただいています。

近年、少子化、高齢化が急速に進むにつれて、スポーツに関する考え方も大きく変化し、健康維持の為、又、記録や勝ち負けにこだわらずに、仲間とのコミュニケーションを大切に楽しむ「生涯スポーツ」へと変わってきています。

この様な時代のニーズを反映して、スポーツを土台として、年令の枠を越え、各連盟同士の枠のつ

ながりを大切に、誰もが手軽に参加でき、スポーツが生活の一部となつて、その楽しさを実感できる様にと願っています。

複雑な社会情勢の中、平和な環境のもとにスポーツを楽しめる事の幸せをかみしめながら、明日の健康で心ゆたかなスポーツライフをめざして歩んでいきたいと思えます。

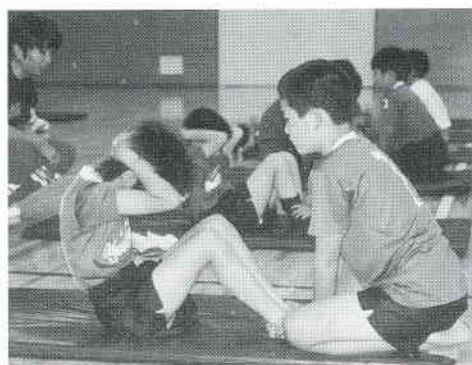
スポーツ少年団

川越市スポーツ少年団は、昭和50年に産声をあげ、「心身共に健全な青少年の育成」を目的として活動を行ってきました。平成13年度は、54団、二一七六名の団員が少年団登録しています。54団の内訳は、サッカー(22団)、軟式野球(13団)、硬式野球(1団)、ジュニアバレーボール(6団)、剣道(2団)、体操(1団)、陸上(1団)、なぎなた(1団)、合気道(1団)です。

川越市スポーツ少年団では、5月に体力テスト会、9月に体育祭、1月にマラソン大会を行うなど、各団の交流を図っています。

各団は、団員を中心に、指導者、母集団が地域との連携を保ちながら、日々の練習に励んでいます。スポーツを通して仲間との連携を

深め、ルールを守る心を養い、目標に向かって努力し自分を高める力を培っています。子どもたちが体を動かし、汗を流すことの心地よさの中からスポーツすることの楽しさを感じ、生涯スポーツを続けてゆきたいと思えるような土壌を創造してゆくののが我々に与えられた課題であると考えています。



第五十四回市民体育祭

■総合開会式

八月五日(日)川越運動公園陸上競技場を会場に、市民体育祭一般陸上陸上競技の部といっしょに開催されました。

二十九団体、三四〇名の参加のもと、力強い入場行進が行われました。

星野教育長の開会宣言、舟橋市長のあいさつに続いて、陸上競技大会参加者を代表して、林昌彦氏による選手宣誓が行われました。

■市民体育祭・町内体育祭

スポーツの秋、九月から十一月にかけて、各地区で小・中学校の校庭を会場として実施されました。



バドミントン



剣道

・実施自治会 一七七自治会
 ・会場数 二七会場
 ・参加数 三〇、一一三名

第54回市民体育祭参加者

	参加者					合計
	少年少女	青年	婦人	壮年	その他	
野球		青年・壮年		300		300
卓球	15	0	108	91	19	233
ソフトテニス	48	18	68	14	4	152
バレーボール	120	260	705	85	25	1,195
バスケットボール	960	645	75	70	0	1,750
サッカー	926	676	46	0	6	1,648
柔道	302	64	23	41	0	430
剣道	93	54	18	21	0	186
弓道	55	20	35	32	9	151
空手道	138	45	8	6	0	197
陸上	635	28	3	7	0	673
水泳	885	115	71	82	7	1,160
スキー	7	29	8	29	0	73
クレール	0	0	0	19	31	50
ライフール	0	0	1	20	4	25
スケート	16	青年・壮年		4	0	20
体操	168	0	0	0	0	168
小体連	757	0	0	0	0	757
中体連	5,266	0	0	0	0	5,266
高体連	2,799	0	0	0	0	2,799
レクリエーション	49	51	516	118	178	912
バドミントン	0	46	85	74	1	206
少林寺	155	56	0	0	0	211
ソフトボール	0	163	137	2,478	678	3,456
テニス	78	671	440	200	0	1,399
ボウリング	6	9	29	50	6	100
なぎなた	7	0	20	1	19	47
ラグビー	270	40	0	55	5	370
ゲートボール	0	0	158	2	104	264
合計	13,755		9,353		1,090	24,198

少年少女=小・中・高校生 青年=30歳未満 壮年=30~60歳 その他=61歳以上

シリーズ 体育施設紹介 (3)



陸上競技



卓球

安比奈親水公園

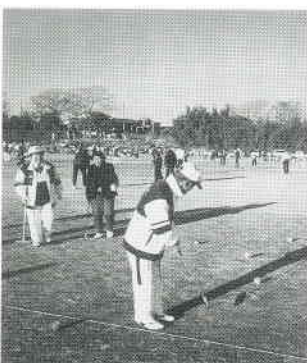
触れ合いを求める人でにぎわっています。

- ・開場時間 九時~十七時
- ・休場日 月曜日
- ・使用料 無料
- ・利用申込み方法 上戸運動公園管理事務所

詳細は、市役所公園整備課へ
 ☎二二四一八八一

安比奈親水公園は、昭和59年4月1日に入間川の河川敷を占用して約8・3haの運動公園として整備されたのに続き、平成6年7月1日、親水性があり多目的な用途に対応できる広場として、約7・4haの親水公園として整備されました。施設の概要は、陸上競技場兼サッカー場1面、野球場2面、ソフトボール場1面、テニスコート(クレイコート)6面、自由広場(芝生)1か所、野草園2か所、駐車場、駐輪場、トイレ、水飲み場等を完備しています。

若い人から高齢者まで、幅広い層に利用されており、スポーツ・レクリエーション活動や自然との



第20回川越ウォークソン大会

■ 期日 平成13年11月3日(祝)
 ■ 会場 川越運動公園周辺コース
 ■ 種目・参加人数

部門	種目	距離	参加人数
競技	男子	20km	19
	女子	10km	4
レクリエーションの部	一般男子	10km	106
	一般女子	10km	86
	59歳以下男子	5km	63
	59歳以下女子	5km	74
	60歳以上男子	5km	76
	60歳以上女子	5km	66
	中学生男子	10km	237
	中学生女子	10km	89
	小学生男子	5km	92
	小学生女子	5km	75
親	子	5km	92組263

■ 競技の部1位〜3位入賞者

●男子20km	1位 藤野原 稔人 1°34'35"
	2位 小堀 道夫 1°35'37"
	3位 大越 洋志 1°35'41"
●女子10km	1位 荒川 史子 1°03'52"
	2位 松本 初枝 1°09'46"
	3位 上野 恭子 1°12'52"

■ シルバー賞受賞者(80歳以上)
 石川ミネさん(90) 他14名

昭和57年11月3日に第1回大会がスタート、その後、種目、コース(会場)、表彰内容等の見直しを経て、本年20回目の大会を迎えました。今大会は

- (1) 競技種目の復活
- (2) レク部門のスタイル賞
- (3) 「正しく・美しく・速く歩こ



「ファミリーで楽しくウォーク」
 ー伊佐沼附近にてー

の熱いまなざしを浴びました。今、注目を集めているのが、エクササイズ・ウォーキング。いつでも、どこでも、誰でも簡単にできる楽しいスポーツです。レッツ・ウォーク!

「う」の基本テーマを前面に出す。
 (4) 併せて、「健康ウォーキング・イベント」の要素を大切にする。などを目的としました。
 参加者層として注目されたのは、小・中学生の増加でした。
 競技部門では、日本のトップクラスの競歩選手、県高校で活躍する選手の方々の出場があり、美しいフォームとスピードが、参加者

川越市スポーツ教室

〔一般対象種目〕

No.	教室名	開催時期	参加者	会場	
1	ゴルフ	Aコース	9月~11月	15名	プロスパー
2		Bコース	9月~11月	15名	
3		Cコース	9月~11月	15名	
4		Dコース	9月~11月	15名	

〔障害者〕

5	障害者グラウンドゴルフ	9月~10月	19名	市民体育館、川越運動公園自由広場
---	-------------	--------	-----	------------------

〔女性対象種目〕

6	バドミントン	9月~11月	15名	市民体育館
7	ソフトテニス	9月~11月	13名	城下テニスコート
8	ボウリング	6月	21名	川越ファミリーレーン
9	スイミング	7月	24名	川越スイミングスクール

〔ジュニア対象種目〕

10	スイミング	8月	23名	中央小学校プール
11	スキー	3月	115名	草津国際スキー場

〔ジュニア・一般対象種目〕

12	卓球	5月~8月	50名	市民体育館	
13	スケート	1期	11月~12月	47名	東武川越スケートセンター
		2期	1月	84名	
14					



ゴルフ教室

第9回スポーツ指導者養成 講習会

第一日目	期日	10月16日(火) 午後7時~8時30分
	内容	「生涯スポーツについて」
	講師	川越市体育協会 関口 正鏜 会長
第二日目	期日	10月23日(火) 午後7時~9時
	内容	「テーピング及びストレッチ けが予防」
	講師	足立学園高等学校 永田 哲郎 先生
第三日目	期日	10月30日(火) 午後7時~ 時 分
	内容	「テーピング及び復帰のための ストレッチ」
	講師	足立学園高等学校 永田 哲郎 先生
第四日目	期日	11月6日(火) 午後7時~8時30分
	内容	「トレーニングの基礎知識」 ーレジスタンストレーニングー
	講師	東洋大学 穂田 清 先生
参加者 のべ 172名		

体育功労者 優秀選手表彰式

期日 平成十四年二月十七日
会場 やまぶき会館中ホール
体育功労者・優秀選手表彰式



舟橋市長から表彰される体育功労者

- 〔体育功労者〕 順不同
芳賀トミ子氏 (バレーボール連盟)
石坂 光司氏 (剣道連盟)
齊木勝次郎氏 (スケート連盟)
清水 良隆氏 (レクリエーション協会)
- 〔優秀選手賞〕
唐木 秀男氏 (ソフトボール協会)
二二種目四〇九名

スポーツ講演会

期日 平成十四年二月十七日
会場 やまぶき会館中ホール

元プロ野球選手 角 盈男氏をお迎えして、「わが野球人生」と題してご講演をいただきました。

ご自身のプロ野球人生を通して経験したスポーツの厳しさや、また楽しさなどを雑談をまじえて、お話しいただきました。その中で目標をしっかりと定め、そのためには何が必要なのか、今何をすべきなのかをしっかりと考えて行動することの大切さを、教えていただきました。

又、タレントとしても活躍されており、芸能界での大変さについても、話していただき、たのしい時間が過ぎていきました。



角 盈男氏

活躍する選手たち

バレーボール協会

◎チーム名 B.E.A.T (ビート)

◎今年度大会成績 全国ママさん

バレーボール大会
ブロック優勝、総
理大臣杯準優勝、
グリーンカップ争
奪ママさんバレー
ボール大会優勝
(二連覇)

◎練習方法は?

高階西小体育館にて週二回(火・金曜日) 七時半～九時半

◎チーム編成上の御苦労は?

当初はなかなか人数が集まらず試合にギリギリで出場してました。序々に部員も増えレベルもアップし全国大会に出場できる程の最強のチームになりました。

◎将来の目標・抱負

・関東大会連続出場、連続優勝
・グリーンカップ杯三連覇

☆これからもたくさんさんの試合に出場し、生涯現役でプレーすることがチーム全体の目標です。

◎日本車椅子ツインバスケットボール選手権二連覇

佐野健一さん二十八歳

◎今年度大会成績 第一五回日本車椅子ツインバスケットボール選

手権大会(全国大会) 1位、関東地区リーグ戦5位、第4回関東ツインバスケットボール大会1位

◎この競技の魅力は?

一般の「車椅子バスケット」は頸髄(首の部分の神経)を損傷し、四肢および体幹機能に障害のある選手でもプレーできるように日本で考案されたバスケットです。より重度な選手のために「低いバスケット」を追加し、2つあることから「ツイン」という名がついています。

◎チーム編成上のご苦労は?

選手によって運動機能に大きな差ができます。チームによって差がないよう公正にプレーヤー5人を選ばなくてはなりません。

◎将来の目標・抱負

今年度は千葉で行われる5回連続出場の全国大会「前代未聞の3連覇!」の目標に向けて頑張っています。(7年前は弱小チームだったんです)

日本は障害者スポーツに対する意識が低く世間に知られていない



競技が沢山あります。私たちも対外活動を活発にし世間の認知度を高め、障害者の存在をアピールしていきたいです。

◎アイスレジャホッケーの日本代表

遠藤隆行さん二十三歳

◎今年度大会成績 東京アイスバ

ーンスでは0勝4敗。日本代表としては韓国戦では2勝0敗。カナダ戦では1勝2敗。(国際親善試合)

◎この競技の魅力は?

いろいろな下肢障害をもったメンバーと体の特徴を生かし(体の大きさ等)、体全部を使ってある程度ラフプレイを許されている所。

◎チーム編成上のご苦労は?

日本には私の所属する東京アイスバ

ーンスを含め4チームしかありません。世界でも10カ国くらい。競技人口増加のためいろいろな活動

をしています。(体験会等)

◎将来の目標・抱負

まずは3月に行われるソルトレイクパラリンピックで満足のいく結果を残す事。世界の舞台で自分をアピールしたいです。

編集後記

本号は国体開催の展望号として企画しました。平成16年埼玉国体の成功を祈り市民各位のご協力をお願い申し上げます。

お忙しい中、ご寄稿くださった皆様には厚くお礼申し上げます。今後各連盟団体の皆様のご意見・ご要望などお聞かせください。